

芦北町議会だより



うたせ

第49号

平成29年
6月1日発行



芦北幼稚園入園式（4月12日）

- 2月臨時議会・3月定例議会 …… P 2～4
- 総務常任委員会委員長報告 …… P 5
- 建設経済常任委員会委員長報告 …… P 6
- 文教厚生常任委員会委員長報告 …… P 8
- 一般質問 …… P 10～13
- 議会のうごき・編集後記 …… P 14



2月臨時議会及び 3月定例議会



2月6日、芦北町選挙管理委員会委員の任期満了に伴い委員を選出し、平成28年度一般会計補正予算1件を全会一致で可決しました。

また、3月定例議会は、3月3日に召集され、17日までの15日間の会期で開催しました。

上程された議案は、平成28年度一般会計補正予算ほか、特別会計補正予算2件、条例の制定及び一部改正8件、平成29年度一般会計予算ほか、特別会計予算8件で、いずれも審議の結果、原案のとおり可決しました。

16日には、4議員が登壇し、町政全般にわたり一般質問を行いました。

(議案の内容と結果は、4ページに掲載)

町長の施政方針と予算大綱(要約)

◎社会情勢と芦北町の状況

国においては、平成29年度は、地方が一億総活躍社会の実現や地方創生、公共施設等の適正管理等に取り組みつつ、安定的な財政運営に必要な一般財源総額について、平成28年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保することを基本として地方財政対策を講じることとされました。

本町におきまして

も、第二次芦北町総合計画の目標と将来像である「個性輝き活力と魅力にあふれた、安全・安心を実感できる町」の創造に向けて、また、芦北町総合戦略では、評価委員会の意見をうかがいながら施策の効果を検証し、新たな課題に対する有効な施策は積極的に取り入れ、改善するところは改善しながら予算と事業の「選択と集中」により施策の展開を図ってまいります。

総額は、166億5,510万円となっております。

◎まちづくりの目標

- (1) 地域活力と雇用を生み出す産業づくり
- (2) 地域で守り育てるまちづくり
- (3) 郷土の未来を育む人づくり
- (4) 暮らしを支える基盤づくり
- (5) 住民と行政の協働のまちづくり

◎予算大綱について

第二次総合計画の基本理念のもと、まちづくりの5つの目標を設定し、更に芦北町総合戦略の目標の実現に向けて、健全で持続可能な財政運営を基本に積極的な事業展開を図ることとしました。

その結果、平成29年度一般会計予算総額は97億5,200万円となり、特別会計及び水道事業会計を合わせた平成29年度の予算

◎結び

平成29年度は、「いい町をつくるため、他に誇れる町をつくるため」、そして何よりまちづくりの基本理念であります「すべては次代を担う子どもたちのために」百般の政策・事業を展開し、「品格ある安全・安心のまちづくり」に勇往邁進する所存です。



施政方針と予算大綱を説明する竹崎町長

平成29年度 当初予算を可決 166億5,510万円

会計名		予算額	増減率
一	一般会計	97億5,200万円	1.7%
特別会計	国民健康保険事業	36億6,900万円	△1.2%
	介護保険事業	22億5,200万円	△0.2%
	農業集落排水事業	2億2,100万円	△1.3%
	生活排水処理事業	5,750万円	△0.9%
	町有温泉事業	1億200万円	9.7%
	奨学資金貸付事業	3,400万円	△8.1%
	後期高齢者医療事業	2億6,860万円	0.5%
水道事業(公営企業会計)		2億9,900万円	5.3%
合計		166億5,510万円	0.8%

平成28年度 補正予算を可決 3億7,615万円追加

会計名		補正額	補正後の総額
一般会計(第7号・第8号)		3億382万円	104億1,983万円
特別会計	国民健康保険事業	6,701万円	37億9,184万円
	介護保険事業	532万円	23億1,525万円
今回補正が行われなかった会計		-	9億6,325万円
合計		3億7,615万円	174億9,017万円

◆補正予算の主な事業

- 一般会計
 - 温泉プール修繕料……………848万円
 - ふるさと応援寄附金事業……………680万円
 - 町有施設整備基金積立金……………9,953万円
 - 九州新幹線漏水対策等被害対策基金積立金……………2,212万円
 - まちづくり振興基金積立金……………8,848万円
 - ふるさと応援寄附金基金積立金……………4,064万円
 - 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業補助金……………1,343万円
- 国民健康保険事業特別会計
 - 高額療養費……………1,701万円
 - 財政調整基金積立金……………5,000万円
- 介護保険事業特別会計
 - 地域密着型介護サービス給付費他

平成29年 第1回芦北町議会臨時会

区 分	議 案	内 容	審議結果
議案第1号	平成28年度芦北町一般会計補正予算(第7号)	概要等は、P3に掲載	可 決
	選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について		委員選出

平成29年 第2回芦北町議会定例会

区 分	議 案	内 容	審議結果
議案第2号	平成28年度芦北町一般会計補正予算(第8号)	概要等は、P3に掲載	可 決
議案第3号	平成28年度芦北町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	〃	〃
議案第4号	平成28年度芦北町介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	〃	〃
議案第5号	平成29年度芦北町一般会計予算	概要等は、P3及びP5～9に掲載	〃
議案第6号	平成29年度芦北町国民健康保険事業特別会計予算	〃	〃
議案第7号	平成29年度芦北町介護保険事業特別会計予算	〃	〃
議案第8号	平成29年度芦北町農業集落排水事業特別会計予算	〃	〃
議案第9号	平成29年度芦北町生活排水処理事業特別会計予算	〃	〃
議案第10号	平成29年度芦北町有温泉事業特別会計予算	〃	〃
議案第11号	平成29年度芦北町奨学資金貸付事業特別会計予算	〃	〃
議案第12号	平成29年度芦北町後期高齢者医療事業特別会計予算	〃	〃
議案第13号	平成29年度芦北町水道事業会計予算	〃	〃
議案第14号	芦北町ふるさと応援寄附金基金条例の制定について	寄附金を適正に管理し、寄附者の意向を反映させた施策の推進を図るための条例	〃
議案第15号	芦北町使用料等審議会条例の制定について	使用料等の適正な額について調査、審議する審議会を設置する条例	〃
議案第16号	芦北町特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	地域おこし協力隊員及び使用料等審議会委員に係る報酬等を定める条例の改正	〃
議案第17号	芦北町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	人事院勧告に基づく職員の給与改定に伴う扶養手当改定	〃
議案第18号	芦北町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	地方公務員の育児休業等に関する法律等の一部改正に伴い条例を改正するもの	〃
議案第19号	芦北町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
議案第20号	芦北町税条例の一部を改正する条例の制定について	地方税法等の一部改正に伴い条例を改正するもの	〃
議案第21号	芦北町国民健康保険直営診療所条例の一部を改正する条例の制定について	吉尾温泉診療所の診療等に係る使用料及び手数料について明確に規定するため、条例を改正するもの	〃
議案第22号	芦北町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	介護保険法施行令の一部改正に伴い条例を改正するもの	〃

第1順位 告畑 一彦氏
 第2順位 藤井 優一氏
 第3順位 長船 正純氏
 第4順位 井手口 浩二氏

選挙管理委員会委員
 補充員4氏を選出



井上 民男氏
 (高岡南)
 新任



遠山 泰子氏
 (小田浦5)
 新任



梅田 安子氏
 (花岡北)
 平成21年から3期目



中川 譲司氏
 (岩谷川内)
 平成23年から3期目

選挙管理委員会
 委員4氏を選出

総務常任委員長報告

— 抜粋 —



【総務課】

平成29年度の一般会計予算総額は、前年度比1億6,200万円増の97億5,200万円、地方交付税は、前年度比2億6,100万円減の36億7,800万円が見込まれておりますが、臨時財政対策債が1,300万円の増となり、過疎対策事業債などを含め町債として10億2,300万円が措置されております。

ます。主な増額の理由は、光情報通信基盤整備事業、芦北高校総合支援事業、ふるさと応援寄附金事業等地方創生関連事業の増によるものです。主な事業として、集落活動

がる例もあり、良い反響であるとの答弁がありました。29年度からは、地域おこし協力隊にも一部を担ってもらおうと考えているとの説明もありました。

また、光情報通信基盤整備事業の進捗状況に対する質疑があり、田浦・湯浦両地域においては、平成30年3月末の開局を見込んでいるとの答弁がありました。また、30年度に大野・吉尾地域及び佐敷地区の一部を整備し、31年3月末には町内全域の開局を目指すとの答弁がありました。

主な事業として、防犯灯や防犯カメラの設置による防犯対策事業や新規事業として、地震に対する木造住宅の安全性を確保することを目的とした住宅耐震化促進事業に取り組みます。

防犯カメラ設置予定の御立岬公園

【企画財政課】

前年度比1億8,242万6,000円増の15億1,180万円が予算計上されており

や産業活動の支援、移住等の促進を図るため、新たに地域おこし協力隊事業に取り組みます。また、山間部を中心とする交通空白地帯に対応するため、10月から乗合制による実証運行が開始されます。

また、光情報通信基盤整備事業の進捗状況に対する質疑があり、田浦・湯浦両地域においては、平成30年3月末の開局を見込んでいるとの答弁がありました。また、30年度に大野・吉尾地域及び佐敷地区の一部を整備し、31年3月末には町内全域の開局を目指すとの答弁がありました。

主な事業として、防犯灯や防犯カメラの設置による防犯対策事業や新規事業として、地震に対する木造住宅の安全性を確保することを目的とした住宅耐震化促進事業に取り組みます。

平成28年度までに15箇所20基設置したとの答弁がありました。また、委員から防犯灯の設置については、計画的に推進してほしいとの要望があり、区長からの要望も踏まえ例年以上の予算を計上しているとの答弁がありました。



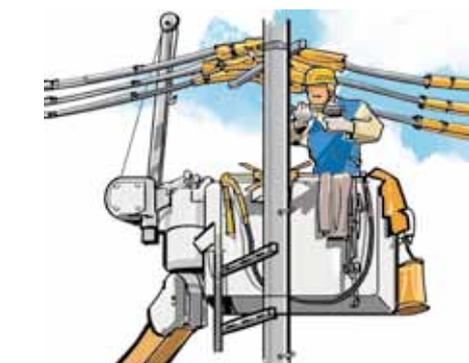
ふるさと応援寄附金事業パンフレット

ふるさと応援寄附金事業について、返礼品取扱事業者の感想はどうかとの質疑に対し、19社の取扱事業者の会議を行ったが、リピーターにつな



実証運行を行う乗合タクシー

主な質疑を申し上げます。



光情報通信基盤整備事業



今年度より始める住宅耐震化促進事業

主な質疑を申し上げます。防犯カメラはこれまで何基設置したのかとの質疑があり、

【議会事務局】
議会費と監査委員費において、前年度比150万5千円減の1億2,119万8千円が予算計上されております。主な減額の理由は、議員共済会給付費負担金等の減によるものです。
委員から議員にも会議録の配布をしないのかとの質疑があり、議員には配布するとの答弁がありました。

【田浦基幹支所】

庁舎屋上外防水改修工事の終了等により前年度比1,128万9千円減の1,024万5千円が予算計上されています。

主な業務として、庁舎・公用車の維持管理、窓口業務等を行い、29年度は、公用車3台を廃車し、新規に1台の借上げが行われます。

主な質疑を申し上げます。窓口の取扱件数はどれくらいかとの質疑に対し、本年2月末現在で戸籍関係、会計事務、その他本庁担当課の受付事務など合計約16,600件の事務処理を行っているとの答弁がありました。また、庁舎の活用についての質疑があり、維持管理について改修等の問題もあるが、生涯学習課関連の事業に2階部分を活用することになっているとの答弁がありました。

【会計室】

前年度比41万7千円減の176万1千円が予算計上されており、主な減額の理由は、印刷製本費の減によるものです。

主な質疑を申し上げます。

一時借入金利子の計上があるが、年に何回ぐらいいの借入れがあるのかとの質疑に対し、借入れはしない方針であるが、不測の事態に備えて予算計上しているとの答弁がありました。

【税務課】

前年度比147万1千円減の3,300万6千円が計上されており、主な減額の理由は、各種業務委託料の減によるものです。

新規事業として、「滞納整理支援システム」の改修を行い、更に迅速適正な滞納整理を推進するとの説明がありました。

主な質疑を申し上げます。委員から徴収業務は非常に重要だと思いが現在、職員の数はどうかとの質疑に対し、現状では係長以下4名で対応しているが、状況に応じて課内で連携を取って対応しているとの答弁がありました。

議案第14号「芦北町ふるさと応援寄附金基金条例の制定について」

本町を応援したいという個人又は団体から寄せられた寄附金を適正に管理し、寄附者

の意向を反映させた施策の推進を図るため条例を制定するものであるとの説明がありました。委員から事業の詳細がわかり非常に良いとの意見があり、質疑終了後は討論もなくなり、議案第14号については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。



議案第15号「芦北町使用料等審議会条例の制定について」

芦北町における使用料等の適正な額について調査、審議する審議会を設置するため条例を制定する必要があるとの説明がありました。説明の後には、質疑・討論もなく、議案第15号については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

議案第16号「芦北町特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について」

地域おこし協力隊員及び使用料等審議会委員に係る報酬を定めるため、条例を改正する必要があるとの説明がありました。説明の後には、質疑・討論もなく、議案第16号については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

建設経済常任委員長報告

— 抜粋 —



【建設課】

比1,288万3千円の増となっております。

主要事業の町道射場芦北線改良事業をはじめ、町道の改良及び維持補修、県道関係改良工事等に係る負担金措置、公営住宅の維持管理などに加え、引き続き、橋りょうの点検を実施すると共に新たに2つの地区の雨水排水対策詳細設計を計画しているとの説明があり、予算計上額は、8億5,782万円で、前年度

委員から、老朽化している公営住宅の中で利用者の退去後に新たな入居を停止している団地はいくつあるのかとの質疑に対し、現在5団地について行っているとの答弁がありました。

また、前年度と比べて減額した事業が見られるがとの質疑に対し、緊急性・必要性等を考慮し、事業間で調整を



町道射場芦北線の改良予定箇所



町道芦北新地線の改良予定箇所



町道佐敷駅通り線の側溝改良予定箇所

行った結果であり、全体では1・5%の増となっております。の答弁がありました。

【農林水産課】

農作業の負担軽減と効率化

を目的に、農作業支援事業をはじめ、果樹のハウス施設などに対する支援、農業基盤整備事業に取り組み、林業においては、新たに町産材を活用した「おもちゃ」を1歳児を対象に贈呈する木育事業を推進し、将来的な木材需要の拡大に取り組みとの説明がありました。

漁業については、これまで行ってきた漁業振興事業を引き続き実施しながら、水産物直売施設の運営支援をはじめ、魚介類放流事業では新たに足赤エビの放流にも取り組み、漁業者や漁協等の経営力の強化を図るなど、主要事業について説明がありました。予算計上額は、4億5,880万3千円で、前年度比9,263万1千円の減となっております。その主な理由は、水産物直売施設改修工事終了、国の補助対象外となった町有林育成事業及び中山間地域総合整備事業費の減額などによるものです。

委員から、足赤エビの稚エビ放流はどのように行うのかとの質疑に対し、八代漁協の種苗施設で生産したものを成長期の生息区域に放流を考えているとの答弁がありました。

また、農振地域の見直しを行う必要があると思うがとの質疑に対し、平成30年度に計画しているとの答弁がありました。



田浦漁港防波堤の改良予定箇所

【農業委員会事務局】

新たな農業委員会制度に対応するとともに、農地等利用最適化を図るための農地利用集積事業や遊休農地の発生防止・解消に向けた主要事業の説明があり、予算計上額は、1,529万5千円で、前年度比545万3千円の増となっております。

委員から、農地利用最適化推進委員の活動内容について質疑があり、新制度による各

種事業の周知を図るため、説明会・座談会などを積極的に開催し、本事業の推進を行っていくとの答弁がありました。

【上下水道課】

飲料水供給施設整備事業で1水道組合に対する補助をはじめ、浄化槽設置整備事業など主要事業について説明があり、予算計上額は、2億769万2千円で、前年度比1,194万7千円の減となっております。

委員から、飲料水供給施設整備事業の対象水道組合について質疑があり、22世帯で構成する1水道組合を計画しているとの答弁がありました。

【商工観光課】

芦北海浜総合公園の施設改修をはじめとする観光施設維持管理費及び、各種イベント開催等の観光振興事業、プレミアム付き商品券発行補助金等の商工業振興事業など主要事業について説明があり、予算計上額は、4億4,902万4千円で、大規模な施設改修事業の完了により、前年度比6,042万7千円の減となっております。



芦北海浜総合公園の改修予定施設

委員から、企業誘致はどのような行っていくのかとの質疑があり、県と連携して広く情報発信を行うとともに、既存の企業に対して工場新設や増設などの誘致活動に努めていくとの答弁がありました。

議案第8号「平成29年度芦北町農業集落排水事業特別会計予算」

平成29年度は、施設の老朽化等に対する長寿命化に向けた取り組みの説明があり、予算計上額は、2億2,100万円で、前年度比300万円の減となっております。委員から、使用料に対し経費が大きいが修繕料等見直す考えはないかとの質疑に対し、施設の

維持修繕など国の補助等を活用し、計画的に行っていくとの答弁がありました。

**議案第9号「平成29年度
芦北町生活排水処理事業
特別会計予算」**

平成29年度も管理する浄化槽の維持管理費について説明があり、予算計上額は、5,750万円で、前年度比50万円の減となっております。

委員から、浄化槽使用料で町が管理する湯南団地7基とは何かとの質疑に対し、同団地160戸に対し大型の浄化槽を設置しているとの答弁がありました。

**議案第10号「平成29年度
芦北町有温泉事業特別
会計予算」**

平成29年度も施設の適切な維持管理に努めるとともに、サービスの拡充と集客を図っていくとの説明があり、予算計上額は、1億200万円で、施設修繕料などにより、前年度比900万円の増となっております。

委員から、温泉センター入浴料の減少の原因はどの質疑があり、近隣温泉施設の改修の影響ではないかと考えてい

るとの答弁がありました。

**議案第13号「平成29年度
芦北町水道事業会計予算」**

平成29年度は、老朽化した花岡浄水場取水ポンプ更新及び、道路改良に伴う配水管布設替工事など主要事業の説明があり、予算計上額は、収益的支出予算と資本的支出予算の合計が2億9,900万円で、前年度比1,500万円の増となっております。

委員から、給水人口の減少等による今後の事業運営の見直しについて質疑があり、本年度は、将来の経営安定を図るため料金等の見直しの検討を行うとの答弁がありました。



文教厚生常任委員長報告

— 抜粋 —



〔福祉課〕

前年度に対し、1億721万円増の18億7,333万9千円が計上されております。増額の主な要因は、保育所等整備事業の実施による児童措置費の増、障がい福祉計画及び障がい者プラン等策定業務委託並びに自立支援医療費扶助費の増額による障害者福祉費の増などによるものです。

なお、町が設置する要保護児童対策地域協議会については、児童福祉法の改正により、平成29年4月から専門職の配置が義務付けられており、児童虐待等に対しこれまで以上に専門的な見地から対処していくとの説明がありました。

主な質疑について申し上げます。保育所等整備事業に関する質疑に対し、交付金を活用した計石保育園の園舎建替えに対する補助を行うものであるとの答弁がありました。

〔住民生活課〕

前年度に対し、1,963万3千円増の18億7,306万7千円が計上されております。

増額の主な要因は、広域行政事務組合ごみ焼却施設の維持修繕にかかる清掃総務費の増、ごみ中間処理業務委託の見直しにかかる塵芥処理費の増などによるものです。

なお、環境対策業務では、住宅太陽光発電システム設置補助金について、太陽光発電システムの普及により設置コストが下がってきたことから平成28年度で終了することとしたとの説明がありました。

主な質疑について申し上げます。水俣芦北広域行政事務組合ごみ共同処理事業が増額となっている要因は何かとの質疑に対し、ごみ焼却施設の中央制御盤の改修が計画されているためであるとの答弁がありました。

〔教育課〕

前年度に対し、2,387万5千円減の4億5,076万5千円が計上されております。

減額の主な要因は、奨学資金貸付事業特別会計への繰出金の減、幼稚園体育館屋根修繕の完了に伴う幼稚園費の減などによるものです。

主な事業として、小・中学校の校務用パソコンの入れ替え、体育館屋根改修工事等が計画されています。



屋根改修工事を行う田浦中学校体育館

主な質疑について申し上げます。小学校部活動の社会体育移行について、本町の現状はどうかとなっているかとの質疑に対し、全ての部活動が平成31年度までに社会体育へ移行することから、そのための検討委員会を平成29年度に設置する予定であるとの答弁がありました。

【生涯学習課】

前年度に対し142万4千円増の3億4,784万1千円が計上されております。

増額の主な要因は、地区公民館建設補助による公民館費の増、町誌編さん事業による文化振興費の増などによるものです。

新規事業としては、町民総合センターの開館20周年記念事業として、新体操のイベント開催が計画されています。

また、芦北町誌編さん事業について、本格的な事業着手がなされるとともに、平成33



今年度から着手する町誌編さん(写真は現在の町誌)

年度までの債務負担行為も併せて計上されています。

主な質疑について申し上げます。公民館施設整備事業の内容はどのようなものかとの質疑に対し、2地区の公民館が新しく建て替えとなり、4件が修繕であるとの答弁がありました。

議案第6号「平成29年度芦北町国民健康保険事業特別会計予算」

事業勘定については、前年度に対し、2,200万円減の36億4,000万円が計上されております。

減額の主な要因は、被保険者数の減少見込みによる後期高齢者支援金の減などによるものです。

直診勘定については、前年度に対し、2,410万円減の2,900万円が計上されております。

減額の主な要因は、吉尾診療所の人員配置の見直しによる職員人件費の減によるものです。

患者輸送車を導入して患者の送迎を行うことで、現在の週3日の診療を2日とするとの説明がありました。

主な質疑について申し上げます。

ます。診療日が減ることによるサービスの低下などは生じないかとの質疑に対し、診療日は減るが、新たに通院の送迎を開始することで、患者の不安解消と負担軽減を図り効率的な診療につなげたいとの答弁がありました。



患者輸送車を導入する吉尾温泉診療所

議案第7号「平成29年度芦北町介護保険事業特別会計予算」

前年度に対し、400万円減の22億5,200万円が計上されております。

減額の主な要因は、小規模の通所事業所が地域密着型サービスへ移行し利用の減少が見込まれることによる居宅介護サービス給付費の減など

によるものです。

主な質疑について申し上げます。老人保健福祉計画・介護保険事業計画委託とはどのようなものかとの質疑に対し、本町における高齢者を取り巻く地域特性や介護保険給付状況等を把握し、今後、必要とされるサービス等に関する計画を策定するものであるとの答弁がありました。

議案第11号「平成29年度芦北町奨学資金貸付事業特別会計予算」

前年度に対し、300万円減の3,400万円が計上されております。

減額の要因は、28年度からの継続貸付者が減少するためです。

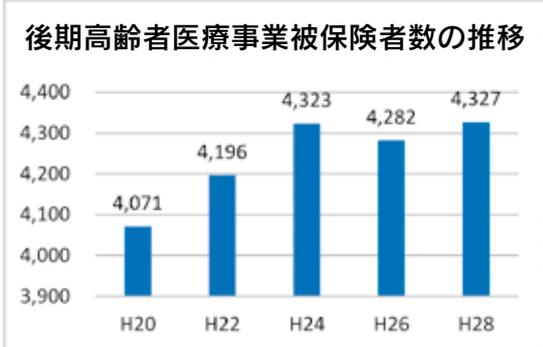
主な質疑について申し上げます。奨学資金の返済免除について検討されているかとの質疑に対し、他自治体の情報収集等を行っているが、現在のところは考えていないとの答弁がありました。これに対し、委員からは、地元に残る人などに対する免除制度などを検討していただきたいとの意見が出されました。

議案第12号「平成29年度芦北町後期高齢者医療事業特別会計予算」

前年度に対し、140万円増の2億6,860万円が計上されております。

増額の主な要因は、県全体の保険料賦課総額の増に伴う広域連合納付金の増によるものです。

主な質疑について申し上げます。本町の後期高齢者の人口及びピーク予想はどの質疑に対し、平成28年12月末現在で、4,327名である。





宮内議員

有害鳥獣駆除の対応は！

質 本町では、農作物の鳥獣被害対策として、防護柵の設置及び新規免許取得者への取得費の助成並びに猟友会に対する駆除費等の助成を積極的に行い、有害鳥獣の駆除に努められている。

しかし、近年、有害鳥獣を駆除する狩従事者は高齢化しており、今後の人材確保が必要であると思われるが、どのような対応を考えているか。

答 町長

本町においては、以前にも議会で申し上げたとおり、有害鳥獣被害防止対策協議会を立ち上げて、各種対策に取り組んでいる。

答 農林水産課長

狩猟従事者の人材確保は、新規免許取得者への助成を始め、安全で効率的な免許取得者への助成も継続していく。更に各地区の猟友会の意



見を聴取し、芦北町鳥獣被害防止計画に反映していく。

通学路の安全確保は

質 各小学校の通学路において、危険箇所として認識されている箇所は、何箇所あるか。

また、通学路には、信号機のある横断歩道と無い横断歩道があるが、学校では、それぞれ渡り方等について、どのような指導がなされているか。

答 教育課長

平成28年度行なった、芦北町通学路安全推進会議では、各小学校から16箇所の報告があった。



小学生通学の様子

また、基本的に信号機のある横断歩道を渡るように通学路を設定しており、休日等、通学路以外の場所での道路横断時でも、交通量の多いところでは、信号機のある場所まで行つて渡るように指導している。

指導については、芦北警察署、芦北町交通安全協会、校区内の交通指導員の方に御協力をいただき、模擬の信号機を使用した交通教室を開催しながら、安全に通学ができるよう努めている。

障害者差別解消法について

質 障害者差別解消法が施行され、早1年が経とうとしているが、芦北町では町民に対して、どのような啓発を行っているのか。

答 福祉課長

ホームページへの掲載や啓発パンフレットを窓口を設置し、障がいのある人への理解を深めるため、講演会やバリアフリーデイスクゴルフ大会を開催するなど、広く町民に啓発を行っている。

認知症対策について

質 認知症は、高齢者だけがかかる病気でなく、近年は若い方でも発症が見られ、患者を抱える家庭では、大きな負担となっている。

現在、認知症患者の治療費に対する助成等はあるのか。また、町内で認知症患者を受け入れる施設は何施設あるのか。これらの施設の受け入れ状況はどのような状況か。

答 住民生活課長

認知症治療に対する助成制度は、現在のところはない。また、受け入れ施設は、グループホームが10施設、90人の受け入れ定員となっており、今年4月から1施設で通所サービスク3名の受け入れが始まる予定である。

施設の受け入れについては空きがない状況で、現在23名の待機者がある。今後、家庭でも支えていけるような仕組みづくりを考えている。

一般質問 (抜粋)



坂本議員

公共施設等のトイレの改善は！

質 熊本地震の教訓等を踏まえ、緊急時に避難所となる小・中学校、各種集会所、公民館等、また一般介護予防事業の「たつしやか会」などが開催されている各地区公民館のトイレの洋式化を推進する考えはないか。

答 町長 一般的に洋式化が進んでいる中で、日常・非日常で対応できる環境整備が必要であると考えている。

答 教育課長 小中学校のトイレの洋式化については平成28年度田浦中学校で2基整備した。今後も学校現場からの要望を基に計画的な整備に努めていく。

答 生涯学習課長 所管の指定避難施設10施設の内、洋式トイレは9施設で設置してある。収容人員が大きい町民総合センターのトイレは、新たに6基の洋式化を計画しており、平成29年度の当初予算に計上している。今後は地元関係者の意見、要望、利用状況などを踏まえ対応を検討していく。

また、自治公民館のトイレの洋式化についても芦北町地区公民館建設補助金交付要綱を改正し、平成29年度から補助対象になるので要望など踏まえ対応していく。

就学援助制度の入学準備金の支払い時期について

質 現在、入学準備金は入学後に支払われているが、支給対象世帯にとって入学に要する経費の支払いは、概ね入学前の3月に発生している。入学準備金を入学前支給に切り替える考えはないか。

答 教育長 就学援助制度の入学準備金については入学準備に間に合うよう支給するのが最善である。しかし、幾つかの課題も示されており今後は課題を解決し、制度の主旨に鑑み入学準備に支障がないような時期に支給できるように既に検討を進めている。

芦北町の財政の現状と福祉の向上について

質 ①平成27年度末で地方債現在高は約100億円となつ

ている。その内臨時財政対策債など交付税措置される分を差し引いた地方債残高はいくらか。

②地方交付税が減少する中、高齢者は増加の一途をたどっているが、今後、高齢者・障がい者など生活弱者の暮らしや福祉の向上に対する施策をどう進めていく考えか。

答 企画財政課長 平成27年度末の一般会計における地方債残高は100億円である。その内交付税措置が見込まれる額が80億円程度という事になる。

答 町長 地方交付税の段階的縮減に備えて、まちづくり振興基金を積み立てており、計画的な取り崩しによって福祉サービス等の安定的な提供を図っていく。

質 芦北町の財政は町の借金も減り続け、基金は増え毎年の予算にも余裕がある。類似町と比較しても見劣りせず、町民からの疑問や心配にも充ち応えることができる財政状

況であり、健全財政を維持していると言っている認識の一致が必要と思うがどうか。

答 企画財政課長 芦北町予算は、約100億円の予算に対して、町税は約16億円である。財政力指数は0.28で、大部分を地方交付税をはじめとする依存財源に頼っているのが現状であり、財政基盤は非常に脆弱である。

また、経常収支比率は90%であり、橋や道路の改修など、投資的な経費を生みだすのに非常に苦労している。財政は健全であるが、決して豊かではないため、一旦始めると経常経費化する福祉政策は、慎重にならざるを得ない。

質 福祉の向上及び増進のために、優先的に使うという政治姿勢が大事と思うが町長の認識はどうか。

答 町長 財政運営や事業展開、中期展望にたった中で一つの分野に特化せず、バランスのとれた政策を展開していく。



川尻議員

「働き方改革」への 対応はどうする

質 政府は、一億総活躍社会実現のため、働き方改革の計画策定等に向け、働き方担当大臣を設け、「働き方改革実現会議」を設置し会議を重ねている。

答 これを受けて、熊本労働局に県内の労使団体、地方公共団体などで構成する「働き方改革推進熊本地方協議会」が設置され、具体的な取り組みに向けて協議が始まっている。

質 法制定までは、時間がかかると思われるが、本町においても、行政改革の一つとして検討すべきであると思うがどうか。

答 総務課長

現在、国の働き方改革実現会議において、実行計画のとりまとめが行われている。その内容を見極めた上で、必要に応じて対応したい。

質 町内企業との意見交換会等を開催する考えはないか。

答 商工観光課長

熊本労働局、熊本県などで構成される、働き方改革推進熊本地方協議会が設置されており、平成29年度で具体的な

方向性などについて検討されるので、その内容に応じて検討し対応していきたい。

人口減少対策は

質 平成27年10月に芦北町総合戦略が策定され、その中で、人口減少対策について、具体的方法の実現へ向けた基本的な数値が掲げられている。

答 人口減少対策としての、移住・定住の具体的な施策は最重要と考える。

平成29年度、新たに地域おこし協力隊の導入を進めるとあるが、具体的な事業内容はどうのようなものか。

答 町長

魅力的なまちづくりを進める上で、移住・定住に関する施策は、重要なものと考えており、これまでも種々と取り組んでいる。

答 企画財政課長

地域おこし協力隊制度とは、移住、定住の促進と地域の課題解決を図ることを目的とし、平成21年度に創設された制度である。

隊員は、地方公共団体が委嘱する特別公務員の身分で活

動する事になり、都市部から住民票を芦北町に移し、1年から3年以内の任期で業務にあたり、隊員1人当たり約400万円が、特別交付税で措置されることになる。

芦北町としては、3名の隊員採用を考えており、地域資源の開発や情報発信、水産物直売所や加工所の支援、地域づくり団体と連携した地域課題の解決などの活動に当たることになる。

質 3名の隊員は、どのような形で選考し、決定するのか。

答 企画財政課長

本議会終了後から4月中旬ごろまでに募集を行い、書類選考、面接等を行った上で隊員を決定したい。その後、受け入れる団体等に対して事前説明等を行いながら、7月に委嘱できればと計画している。

質 地元に残る新卒者や、Uターン・Iターン者が住みやすい環境、いわゆるまちづくりが不可欠であり、有識者や地元企業等と積極的かつスピーディな協議を行い、対応策を講じるべきではないか。

また、対外的PRツールとして、動画制作にも取り組み、さらに、移住・定住促進の環境として、地域おこし協力隊の導入であるとか、芦北高校の支援も進めているところである。

答 企画財政課長

対応策に当たる総合戦略策定の際、各界の有識者を加えた委員会をたちあげ、様々な意見を伺い、併せて企業からのヒアリングやアンケート調査を行い策定している。

移住・定住に関する事業については、ポータルサイトの構築であるとか、空き家等の情報発信に既に取り組んでいる。

また、対外的PRツールとして、動画制作にも取り組み、さらに、移住・定住促進の環境として、地域おこし協力隊の導入であるとか、芦北高校の支援も進めているところである。

なお、総合戦略は、随時必要を見直しを行っており、施策等は柔軟に考えたい。また、移住者が一人でも多く定住する町を目指して、この事業を展開していきたい。



一般質問 (抜粋)



荒川議員

水俣・芦北地域振興計画に基づく観光推進は



予定の直売食堂と連携し、誘客に努めたい。

水俣・芦北地域振興財団助成事業は

芦北地域は、水俣・芦北

地域振興計画による地域の振興が図られている。その事業計画の町の取り組みとして、「観光うたせ船にも取り組み、現在、芦北町の観光の顔として、12隻が操業している。」とあるが、観光うたせ船の現在の利用状況はどうなっているか。また、今後の誘客対策をどう考えているのか。

答 商工観光課長

ピーク時の平成7年は1万4,750人、直近の平成27年は2,915人で、平成28年は熊本地震の影響もあり2,044人であった。今後の誘客対策については、引き続き主要な観光素材としてテレビ・雑誌などのメディア広報や、イベントでのPR活動などに取り組むとともに、計石温泉センター横にオープン

荒廃した竹林や山林の再生を目指す事業などである。

海浜レジャー及び観光振興は

田浦インターチェンジ開通当時から現在まで、芦北海浜総合公園、御立岬公園など、海浜レジャーの施設の来園者数や収支状況などにごのような変化があっているのか。

答 商工観光課長

御立岬公園では、来園者数がマイナス8万3,310人の43%の減だが、運営する有限会社御立岬の平成17年度公園の経常損益は、比較して1,435万5,000円の黒字好転となっている。一方、芦北海浜総合公園についても、来園者数マイナス1万1,787人の26%減だが、ほぼ横ばいの収支状況となっている。

答 同施設に対する来場者を増やすための具体的な対策及び海浜レジャーや観光イベント等に参加した町外の人に対する芦北町のアピール活動は、どのように行っているのか。

健康ポイント制度を取り入れ、町民の健康維持・増進を図り、そのポイントを町内で利用できるようにして、健康と町内の活性化を同時に図るといふ考えはないか。

答 商工観光課長

継続的な観光PR、情報発信はもとより、昨年からは南自治体と連携して、福岡市や鹿児島市での観光PR活動、関東での大型観光展への参加などに取り組んできたところである。町外から来られた観光客への周知については、観光施設のPR、また温泉入浴サービス券やお買い物券なども配布するようにしている。町内の観光情報を紹介するコーナーの設置も行う予定である。

健康づくり推進事業の取組は

健康ポイント制度を取り入れ、町民の健康維持・増進を図り、そのポイントを町内で利用できるようにして、健康と町内の活性化を同時に図るといふ考えはないか。

答 住民生活課長

健康ポイント制度については、現在、総合特区制度を利用して大規模実証実験が行われている最中であり、今後、研究をしたいと思っている。

議会のうごき

- 2月 3日 熊本県町村議会議長会理事会
- 6日 議会運営委員会
臨時議会
- 17日 熊本県町村議会議長会定期総会
- 21日 議会改革特別委員会
- 27日 議会運営委員会
- 3月 3日 3月定例議会（議案審議）
- 6日 建設経済常任委員会
文教厚生常任委員会
- 7日 総務常任委員会
文教厚生常任委員会
- 8日 総務常任委員会
建設経済常任委員会
- 16日 3月定例議会（一般質問）
- 17日 3月定例議会（議案審議）
広報特別委員会
- 29日 水俣芦北広域行政事務組合
議会定例会
- 5月22日 熊本県町村議会議長会議長研修会

平成29年度 町村議会議長研修会

平成29年度町村議会議長研修会が、5月22日に熊本県市町村自治会館で開催されました。県内町村の議会から約70名の議長及び議会事務局職員が出席し、芦北町議会からは、寺本議長が出席しました。研修内容は、兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科の研究科長であり、教授の室崎益輝氏により「災害と自治体の危機管理」をテーマに講演が行われました。



傍聴に来てください。



次の議会は6月中旬の予定です。

熊本地震の見舞金



全国町村議会議長会や町村議会から、熊本県町村議会議長会へ見舞金が寄せられ、被害の状況に応じ本町へも見舞金が配分されました。御礼申し上げます。

議会広報特別委員会

委員	委員長	委員	委員
宮内道則	平松洋一	宮尾秀行	前田徹一
荒川知章	白坂康浩	知章	康浩

また、現メンバーでの編集も来年3月までと、残り少なくなつてまいりましたが、議会と住民の皆様との間を繋ぐパイプ役として、広く親しまれる紙面づくりに頑張つてまいりたいと思います。

最後になりますが、本紙に対する皆様からのアイデアや、ご助言をお待ちしています。
(宮内)

編集後記

本紙編集委員を拝命し、今年で早8年目を迎えます。その間、全ページカラー化などを図りながら、年4回の定例議会や臨時議会、各種委員会などの議会活動について、委員で紙面を分担し、編集会議や校正を繰り返しながら、読みやすく分かりやすい広報紙を目指して取り組んでいます。